

# 活動報告書

番 号

16

## 【団体の概要】

事業名:     Forestry Workshop Vol.5 ～ みんなが集まる折りたたみ式屋台づくり  
 団体名:     サンゴと森の救援隊

## 【活動の概要】

山仕事の内容や取り組みの理念を紹介しながら、今回使用するヒノキの伐採を映像で紹介し、あらかじめ切り出し・製材した木材を使って「折りたたみ式屋台」を作成する。大工さんからカンナがけと組み立て方を習いながら、仕上げていく。また、カンナがけで出来たヒノキの削りかすを使ってサシェを作る。作成した屋台は新しくできた水族館に寄贈し、マルシェで活用していただく。

## 【プログラム】

実施年月日： 令和3年11月13日(土)				
場 所： 土佐清水市				
日 程：				
9:00 集合、主催者挨拶・趣旨説明				
9:15 伝統技術を体験～大工さんからカンナがけを習う				
11:30 昼食&交流会				
13:00 折りたたみ式屋台の組み立て・サシェづくり				
15:30 アンケート記入、集合写真撮影				
16:00 閉会、解散				
募集地区：		高知県内	募集対象：	高知県在住者
募集方法：		チラシ、SNS、声かけ	参加費等：	500円(昼食代)
参加人数：		大人 21名	子供	6名
		スタッフ 6名	外部講師	2名
○マスコミ等での紹介例(あれば)				
なし				
○感想				
＜参加者＞				
・とても楽しい1日でした。				
・自分で伐った木を市場に出荷するだけでなく、製材して実際に使えるモノ作りをしたかったので、今日は大変勉強になった。たくさんの方が興味を持っておられることを知れて良かったです。				
・できるだけ自給自足の生活をしたいと思っています。今、心理士の勉強をしていて、子供たちと自然の中でふれあう施設を作りたいと思っています。				
・料金設定を上げて良いので、出来たものを持ち帰りたいです。				
・大工一筋75年の大ベテランにカンナがけを習えたのは感動です。				
＜スタッフ＞				
・設備が整った施設で行うと、時間配分、参加者への目配り・気配りがしやすく、安全面も確保しやすい。今後も木を活用し、地域とタイアップ出来る啓発プログラムを行っていきたい。				
・山の中で活動するプログラムもしたいけど、木工とは別にやった方が時間的に良い。				